

研究協力をお願い

昭和医科大学では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

蛍光パターン二値化と循環・代謝指標による腸管切除要否スコアの開発

1. 研究の対象および研究対象期間

対象：

2023 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日までの期間に、昭和医科大学病院において絞扼性腸閉塞と診断され、緊急手術を受けた 18 歳以上の患者さん。

期間：

2023 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日。

2. 研究目的・方法

目的：

本研究は、絞扼性腸閉塞に対する緊急手術症例を対象に、ICG 蛍光所見を中心として循環・代謝指標や術中所見を組み合わせ、腸管切除の要否を客観的に判断するための実践的な簡易スコアを探索的に検討することを目的としています。

方法：

2023 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日までに当院で絞扼性腸閉塞に対して緊急手術を受けた患者さんを対象とします。診療録、麻酔記録および手術記録に記載された既存の診療情報を用い、研究用 ID を付与して個人が特定されないように符号化したうえで、後ろ向きに解析を行います。本研究のために新たな検査や治療を行うことはありません。

研究資金（研究助成金）

本研究は、腹部救急医学会による「腹部救急を担う若手医師のための臨床研究助成（2025 年度）」の支援を受けて実施しています。本助成は研究費の補助を目的としたものであり、研究の企画、解析、結果の解釈および公表に対して、助成元が関与することはありません。

利益相反

本研究において、研究責任者および研究分担者は、腹部救急医学会による「腹部救急を担う若手医師の

ための臨床研究助成（2025 年度）」による研究費支援を受けているため、これを利益相反として開示します。なお、本助成金は本研究の科学的中立性に影響を及ぼすものではありません。

3. 研究期間

昭和医科大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから 2028 年 03 月 31 日まで

4. 研究に用いる試料・情報の種類

本研究では、新たに採取する試料はなく、診療上すでに取得された情報のみを用います。使用する情報は、診療録・麻酔記録・手術記録に記載された患者背景、術前バイタルサイン、手術所見および転帰情報です。血液検査として、白血球数、ヘモグロビン、血小板数、CRP、LDH、BUN、クレアチニン、電解質（Na、K、Cl）、AST、ALT、総ビリルビン、アルブミン、凝固系検査（PT-INR、D-dimer）を用います。血液ガス検査として、pH、Base Excess、 HCO_3^- 、乳酸値を用います。これらの情報は術前に取得されたものを対象とし、研究用 ID を付与して符号化した上で解析を行います。

5. 外部への試料・情報の提供

該当いたしません

6. 研究組織

研究責任者 昭和医科大学 松根 佑典
研究協力機関 該当なし
既存試料・情報の提供のみを行う機関 該当なし

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

所属：昭和医科大学 医学部 外科学講座 消化器・一般外科学部門

氏名：松根 佑典

住所：〒142-8666 東京都品川区旗の台 1-5-8

電話番号：03-3784-8541